



2021
議会だより

よしか

第58号

我が郷土吉賀町の誇り！

祝 澧川喜一先生文化勲章受章！



踊字：吉賀高校3年 武岡梨緒さん
写真：吉賀高校生徒会

- ▶議長年頭あいさつ・・・・・・・・・・・・・2頁
- ▶定例会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・3頁
- ▶定例会の主な質疑・・・・・・・・・・・・・・4頁
- ▶臨時会・全員協議会・・・・・・・・・・・・・・5頁

- ▶議決結果表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6頁
- ▶一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9～12頁
- ▶議員研修・経済常任委員会・・・・・・・・・・13頁
- ▶総務常任委員会・今月の表紙・編集後記・・14頁

年頭のあいさつ

議長 安永友行



新年あけましておめでとう
ございます。

昨年来の、新型コロナウイルスは衰えることなく、世界中を席巻しております。

年末・年始の家族や地域の行事をも変えようとしていますが、ワクチン接種も予定され、今年こそは終息し、日常生活になればと思います。

昨年、議会においては、柿木村住居表示や議員定数削減など、多くの問題に対応して参りました。本年も、医療問題をはじめ、多くの課題が山積しています。町執行部との議論や、町民の皆様との意見

交換を通じ、議決機関としての役割を果たします。

本年は、町長・議員の改選の年です。私達は、議員のなり手不足解消と議会活性化を目指し、多くの改革に取り組んでいます。今年秋の選挙に当たっては、町民の皆様の生活と福祉に直接影響する、政策決定を行う場にふさわしい、多様な人材による選挙戦となるよう望んでいます。

町村合併後17年目となります。

新たな議会が、新しい風を生むことで、老若男女すべての町民の皆様が「住んでよかった」と誇ることのできる町づくりのため、議論を重ねます。

新年に当たり、皆様のご理解とご協力をお願いしますとともに、ご多幸を願い、年頭のご挨拶と致します。

令和三年 新春

祝

名誉町民 澄川喜一先生 文化勲章受章



受章

おめでとう

ございます

吉賀町議会

議員一同

第4回(12月)定例会

《12月4日～11日まで8日間》

コロナ対策費増額

一般会計補正予算(第8号) 3億1,398万9千円

一般会計補正予算(第9号) 696万4千円

総額 83億1,026万3千円

(最高額の更新)

◆ 予算(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

◎鳥獣被害対策費

- ・ICT技術を活用し、有害鳥獣捕獲を目的とした機器購入 5604千円

◎農業振興総務費

- ・収益向上を目指し、JAしまね六日市ミニトマト協同選果場の選別機等の購入に対する補助金 11987千円

◎観光施設管理費、老人福祉センター管理費

- ・感染症により7月、9月分の収入減に応じた指定管理料の補填

ゆ・ら・ら 14225千円
はこの湯 1130千円

◆ 契約

◎請負契約の締結

むいかいち温泉ゆ・ら・らレジリエンス強化型ZEB化工事

工事金額 2億4750万円

*レジリエンスとは、停電時に必要なエネルギーを供給できる機能
*ZEB化とは、ビル等における一次エネルギー消費量を、省エネや再生可能エネルギーにより削減し、年間を通した一次エネルギー消費量をゼロにすること

主な質疑

住居表示「柿木村」消える

柿木地域自治区の設置期間が令和3年3月31日で満了することにより

- 1、柿木地域振興室の中にある地域自治区の事務に関する表記を削除
- 2、報酬・費用弁償支給条例のなかの柿木地域振興協議会委員の欄を削除
- 3、柿木村公共施設等の表記から柿木村を削除

例 大井谷の榎田

吉賀町柿木村白谷810番地

吉賀町白谷810番地

全部で39施設等から「柿木村」が消えていきませ。

藤升議員

住居表示上「柿木村」は必要ないが、施設等の表示は丁寧にするべきと考える。

【町長】

いろいろな情報発信・表現の仕方があるので、必要に応じて対応していく。

桑原議員

削除した場合、地域振興に関する業務はしないと捉えられるが。

【町長】

総合的な業務をするために設置した窓口なので、むしろ地域の振興のための室である。

庭田議員

合併により、先人が築いた歴史や文化をきちんと整理して、後世に残すべきである。

【教育長】

六日市町史・柿木村史をまとめて吉賀町史を作る必要が来ていると思うので、検討していきたい。

一般会計補正予算

*むいかいち温泉ゆ・ら・ら

修繕費 2670千円

指定管理料 14225千円

桜下議員

ポイラー・ポンプ等老朽化しているが、現時点での修繕はこれ以上必要ないのか。

【企画課長】

築20年たっているので修繕・修理箇所はほとんど出てくる。発生すれば順番にやっていく。

大多和議員

ゆららのレジリエンス強化型ZEB化工事が出ている。何故一緒にしないのか。地球環境局が出している工事費目のなかに一緒に出来ないとは書いてない。

【企画課長】

レジリエンスが災害に対するものZEBは二酸化炭素の排出抑制に関するものであり、ポンプの修繕は目的の事業にはならない。

河村(由)議員

計画性が全く無い。場当たりのな予算の付け方である。病院の運営も大変な時にいつまで続けるのか。町に対し経済効果はあったという証明はあるのか。

【企画課長】

今後1億5千万円程度の売上げを予定している。そのうち指定管理料が2千数百万円、光熱水費が2千万円程度必要であるが、残りは町への経済効果として考えている。

臨時会

令和2年11月27日（第3回）

【主な議案】

- * 専決処分の承認 一般会計補正予算 1,010千円
澄川喜一先生文化勲章受賞祝賀式に係る経費
- * 動産購入契約 令和2年度学習系端末整備業務 24,266千円
吉賀町学校 ICT 環境整備事業で児童生徒1人1台タブレット端末等の購入経費

全員協議会

令和2年11月27日（第10回）

【主な議題】

- * ICT 技術活用捕獲事業について
長距離無線式捕獲通知システム導入することで従事者の省力化を図る
- * (株)エポックかきのきむらの民営化について
町の対応方針としては、第三セクターとしての役割は終了したと判断し、民営化を進める方針
 - ・債務整理に関しては、町からの支援を想定（実施時期は新体制移行後、来年度を見込む）
令和2年3月末 2,673万円 8月末 1,593万円 約計 4,266万円
 - ・支援額（経営継続用 100万円）見込む



大多和議員

民営化に伴い債務整理を町が支援するのか。

産業課主幹

筆頭株主として対応せざるを得ないと思っている。

庭田議員

第三セクターを設立した目的等、町には社会的な責任以上に責任がある。

町長

決断する時には決断する。それに対しての批判・叱責は甘んじて受ける。

松蔭議員

残務整理はするが、一部事業は継続していくという事か。

産業課主幹

債務の整理をして、民間企業として継続して経営できるようにする。

- ・菌床シイタケ関連施設の指定の取り消しに向け協議中
- ・地域食材供給施設等は指定管理で維持
- ・柿木村きのこ生産組合の生産者支援 菌床1玉40円を令和5年度まで

『議決結果表』

【全員賛成で可決した議案】

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

	議案番号	件名
第3回臨時会	承認第6号	専決処分の承認(令和2年度吉賀町一般会計補正予算(第7号))
	議案第73号	動産購入契約の締結(学習系端末環境整備業務)
	議案第74号	吉賀町職員の給与に関する条例の一部改正
	議案第75号	吉賀町長等の給与等に関する条例の一部改正
第4回定例会	議案第81号	吉賀町国民健康保険税条例の一部改正
	議案第82号	吉賀町地区集会所施設条例の一部改正
	議案第83号	令和2年度吉賀町水道事業会計補正予算(第1号)
	議案第84号	令和2年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第85号	令和2年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第86号	令和2年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
	議案第87号	令和2年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第88号	令和2年度吉賀町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第89号	令和2年度吉賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第90号	令和2年度吉賀町一般会計補正予算(第8号)
議案第91号	請負契約の締結(むいかいち温泉ゆ・ら・らレジリエンス強化型ZEB化工事)	
議案第92号	令和2年度吉賀町一般会計補正予算(第9号)	

【賛成多数で可決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桑原	三浦	桜下	松橋	中田	大郷和	河村隆	大庭	河村(由)	庭田	藤升
臨時3回	議案第76号	吉賀町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部改正	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○
第4回定例会	議案第77号	地域自治区の設置に関する条例を廃止	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第78号	吉賀町課設置条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第79号	吉賀町非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第80号	地域自治区の設置に関する条例を廃止する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定	●	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○

【賛成少数で否決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桑原	三浦	桜下	松橋	中田	大郷和	河村隆	大庭	河村(由)	庭田	藤升
第4回定例会	議案第7号	消費税率5%以下への引き下げを求める意見書(案)	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○

次のことにご注意いただき、ご意見等をお寄せください。

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。



折ってください

切り取り

回答を希望される方はご住所、お名前を記入してください。

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

ご住所 〒

お名前

男・女 (歳代)

件名

Form area with horizontal lines for writing the address, name, gender/age, and subject.

折ってください

切り取り

ウシカ被害農家への支援は



桜下 善博

質問

今年の秋は、トビイロウシカによる被害が町内の農家を襲った。島根県農業共済組合の調べによると、町内451戸の水稲農家の内、ウシカ被害農家は47戸、145筆、申告面積23ヘクタールに達した。この数値は個人の共済加入農家のみで、法人は含まれていないので被害は倍くらいになると予想される。共済の支払い額も、昨年の5、6倍になり、過去に例を見ない甚大な被害であった。

予想外の速さで被害が広まり、予防の遅れも原因のひとつだ。被害農家への経済的支援を考えているか。

難しい問題である

町長

トビイロウシカ被害は、防除や早期の刈り取りで大きさが異なる。防除の有無、共済加入の有無もあり、被害の実態を把握することが困難である。

山口県も西部の被害が大きく、被害農家への支援を、反当たり3千円で検討している情報を得た。

産業課で被害農家からの意見を聞き、情報を集約している。支援に関しては適切な管理、補償制度の活用をしている農家との公平性など、非常に難しい問題である。

農業を守る包括的な政策を



庭田 英明

質問

耕作放棄地を出さず農地を守るためには、小農のために働いている、やぐろや、企業組合への積極的な投資が必要である。

積極的に支援

町長

国や県の事業に加え、町の上乗せ等を検討し支援していく。また既存組織への投資は当然必要と考えているが、手の回らないところは地域商社でカバーしていく考えである。

質問

小農を守り子どもたちの健康を守るためにも、100%町内産で賄うべきと考える。

教育長

教育委員会と生産現場を結ぶ人員を配置したいと考えている。そうすることにより、より安全で必要な量の供給が可能になると思う。

新しい観光の姿を

質問

コロナによって観光のあり方も一変した。高津川、安蔵寺、棚田、高野槇など自然や歴史を活かした観光の姿を創造すべきである。

町長

持続可能な町づくりに取り組むなかで、新しい観光のあり方を研究していく。

あり方を研究

職員、任用職員が過剰では



河村 由美子

質問

人口規模に対して職員が多すぎるという住民の声が多くある。加えて給与は県下でも高い水準にある。この実態を改善して、どのようにして幅広い事業で地域振興に貢献できる人材を育成するのか。

現状適正と考える

町長

職員が多いとは考えていない。給与については指摘の通りである。今は地方創生に向け、職員と一緒に町振興に努める。

病院との協議は

質問

公設民営化を目指し病院との協議を進めているが、経営等で具体的な詰めは折衝は進んでいるか。

双方に差異があり厳しい

町長

町の人口や財政規模を勘案すれば、ベッド数50床が適正規模であると思う。緊急、救急は必須であり、今後は本格的な考えに基づき協議を重ねる。

費用対効果は

質問

この2年間で地域商社に使った3500万円の費用対効果の検証はできているのか。

意見を聴き推進

町長

他の自治体と比較すれば、立ち上げの経費は格段に安いと思っている。今後生産者現場、議会の見も拝聴しながら進めていく。

文化勲章受賞後の町の姿勢は



桑原三平

質問

澄川先生の文化勲章受賞は、町はもとより近隣の市町にとっても榮譽なことである。

澄川喜一記念公園彫刻の道にある作品をはじめ、数多くの作品を発表され、東京スカイツリーのデザインの監修に携わってきた功績について、どのように評価し、活用していくか町の姿勢を聞く。

ソフト面の施策を展開していく

町長 彫刻の道の整備は終了している。

今後は、小中学校の情操教育など新たな展開を考えている。宇部ピエンナールとの交流もあり、関係自治体と

の連携を検討したい。

若い彫刻家の方より、吉賀町長賞を受賞した作品を寄贈したいとの話もある。

受賞を契機に、さらに事業を推進していきたい。

教育のテーマとして取り組む

教育長

町内には2名の受賞者がおられる。

両先生の芸術・文化に対する考え方を学習することが大切だと思う。

学校教育はもとより、社会教育においても芸術・文化を教育のテーマとして取り組みたい。



消防団の施設・装備の整備は



中田元

質問

消防団員は定数300名で現在238人と充足率は79・3%である。定数を満たす対策を行い、消防ホースの点検対策も重要だと考える。

町内に、防火水槽が103カ所、消火栓は306カ所あり、その中でも、4カ所の地上型は周囲の環境や、水槽の蓋等が悪く大変危険である。

六日市市街地は防火水槽が新町と六日市病院入口の2カ所と少ない。

蔵本地域も自然水利が少なく水槽や消火栓の増設が必要である。

立河内地区の消火栓が国道187号線の中央にあり、危険と考える。

防火水槽、消火栓等再調査を行う

町長

団員の勧誘は行政や消防団だけでなく、町を挙げて確保する機運を作りたい。

消防ホース点検の実施方法を見直す必要があると思う。

防火水槽、消火栓については、消防法に基づいて設置しているが、消防水利として充足が100%ではないと承知している。

地上型水槽は、星坂、六日市、朝倉、真田も写真の通り一目瞭然であるので、現場確認を行う。

また立河内地区の消火栓も対策が必要と思う。

病院の公設民営化への課題は



藤升正夫

質問

六日市病院を公設民営化するに至った理由は、

負担軽減につながる

町長

医師、看護師等の医療従事者確保や、新たに普通交付税を見込まれ、町の財政負担軽減につながることなどから判断した。

再質問

病院に求められている改善策に必要な条件は、

町長

町からの繰出金が町財政を圧迫しないかが問題である。

長期的な財政負担を考えると、バランスの取れた経営を目指し、具体的な対策を早期に実施してもらいたい。

再質問

病院の姿勢について

根拠のある資料を要請

町長

損益計算書では、令和4、5年度で人件費を5億円削減となっており、人件費の大幅な削減が現実的に可能なものが、根拠のある資料を強く要請している。

再質問

町から病院の事務に人を派遣することは可能か。

町長

現状では困難と思う。病院の幹部の方、将来を担う若い方を含めて、幅広い意見交換ができる場を要請している。

獣害のない町に



河村 隆行

質問 吉賀町は、年間を通して有害駆除許可を出している。

狩猟クラブも高齢化し、また銃猟狩猟者登録も、減少している。産業課内に対策室を設け増員して対応するべきと思うが。

ICTを活用する

町長 獣害が年々増加する中で限られた人員での対応は、厳しい状況にある。ICTを活用した新技術を導入し、大規模捕獲をめざす。

難視聴地域の解消は

質問 棚田周辺は携帯電話の繋がりにくい所がある。特に集会所周辺と聞い

ている。緊急避難所でもあり、防災上も問題で、早急に確認されては。

国の事業を活用

町長 棚田地域振興法の指定を受けた。地元で組織をつくり活動計画を立て活用したい。

携帯電話については、国の整備事業費の活用を期待している。



大井谷の棚田

六日市病院の今後は



大庭 澄人

質問 六日市病院は、約半世紀にわたる歴史がある。日本の医療制度も変わり、経営も次第に厳しくなっている。

六日市病院に今後どのように関わっていくのか。

働いている人が不安な気持ちでいることなども、いい医療を追求することにほならない。看護師不足をどう補うのか。また公設民営化をどう進めるのか。

引き続き、協議を行う

町長 県にも入り方検討会議で引き続き協議を行っている。また幹部の職員には当然だが、働いておら

れる方、病院の将来を担う若い方の、幅広い意見を集約して協議をするよう提案したところである。

看護師対策としては、人材確保を図るための奨学金の事業

従事者の資質向上を図り人材育成を推進する事業

人材確保を図るための求人募集等に関する事業

・ 離職対策の事業

等で780万円の予算を計上している。

公設民営化は町が持っている部分と、病院の持っている規模感に差異があり、これをすり合わせ早期に決定する。



地域商社設立の進捗状況は



松 蔭 茂

質問 設立発想から2年余り、今一度問う。

今日までの経過と成果はどうか。一般町民の理解度、また今後の見直しは。

コンサル料ほか、今までどのくらいの経費を使ったか。

経費は3千万円

町長 継続的に産業振興を進める仕組みとして地域商社を設立し、多様な創造的な就労環境があり住み続けたいくなる町、若者が新しい事業にチャレンジでき、事業を継続できる環境整備をするのが目的である。

新型コロナウィルスの影響もあるが、町民理解を深めるために懸

見交換会、ワークショップを実施している。3年度中に計画と目標をもつて4年度までには設立する。

経費のほとんどはコンサル料で、約3千万円である。

野生動物の食肉処理施設を

質問 イノシシ、シカ等が今後増えることが予想される。肉を処理できる施設をつくっては。

財政状況を見ながら検討

町長 町の特産品開発にもつながらるので、国の支援制度もあり、財政状況を考えてしながら整備について検討する。

ら検討

砂防・治山えん堤維持管理は



三浦浩明

質問

当町の砂防・治山えん堤は、設置後40年前後経過した施設もある。本来、住民や森林を保護するためのものであるが、現状では堆積した土砂に立木が生茂り、放置しておけば災害時に多大の被害を及ぼす危険性がある。県に対し、立木の撤去等強く要望すべきではないか。

対策を県に要望する

町長

砂防・治山施設の役割に
 応じ、その機能や能力を超えるものは適切に管理されるべきである。島根県と連絡を密にし、重要な場所等を指摘しながら県土木協会の要望に盛り込む。

地域医療福祉と町の連携は

質問

地域の医療福祉の主要施設である六日市病院存続は県・町の連携なくしては成立しないと思われる。病院と協議中の進捗内容と今後の計画は。

病院の将来像を 確立し財政推計する

町長

協議の中で
 財政推計について不確定要素が多いため、町財政への影響を算定している。今後の公設民営化への移行において町と病院の規模感に差異があり、すり合わせをしながら将来の病院像の確立をした上で、最終的な財政推計をしていく。

空き家バンクの有効活用は



大多和 安一

質問

空き家バンクへ登録しながら、活用されていない家をリモートワーク用に貸与することはできないか。

必要に応じて対策を講じる

町長

登録された物件は、個人が管理し、補修が必要なものが多々ある。民業を圧迫することも考えられ、短期間の宿泊等に関しては、必要に応じて対策を講じたい。

時効の不納欠損は

質問

支払い能力があるのに、税金等を支払わず時効として、不納欠損をするのは、違法な行為ではないのか。

必要な対策は 講じている

町長

差押等を実施しているが、徴収ができなく滞納処理に苦慮している。債権共同徴収委員会で、更に検討する。

自走式草刈り機の 貸し出しを

質問

自走式草刈り機を町が準備して、町民に安価で貸し出すことはできないか。

公社での受託を 検討

町長

機械のメンテナンスも考慮すると、農業公社等の受託作業を考える。

発議

(議員が提出した議案)

消費税率5%以下への引き下げを求める意見書(案)……賛成少数により否決

提出者 藤井 正夫

議会報告会始まる 令和2年12月19日(土) 朝倉公民館



朝倉公民館での報告会

議会活性化の一環として、議会報告会を企画致しました。議員12名を3グループに分け、町内5か所の公民館単位で開催することにしました。初回は朝倉公民館で行い、参加者は14名でした。議員定数や地域商社、病院等に多くの意見が出ました。

議員研修・視察

3件の研修・視察を行いました

【ICT視察】

11月11日に「ICTを活用した議会運営について」先進的自治体である美郷町の取り組みを担当議員で視察しました。

今後、タブレット導入等検討していきたいと思えます。



美郷町ICT視察

【自治会館視察】

11月12日に柿木村に5か所ある自治会館を議員全員で視察しました。



自治会館視察

【島根県町村議会議員研修】

10月2日に松江市において開催された研修に参加しました。

◆「新型コロナウイルス禍から地方自治が見える」

中央学院大学 教授

福嶋浩彦氏

◆「島根の町村が牽引する日本の地域づくり」

農村ジャーナリスト

甲斐良治氏

経済常任委員会、要望・視察を実施

【危険箇所要望】

11月17日に「町内の危険箇所について」島根県津和野土木事業所に要望を実施しました。

引き続き、調査・要望していきたいと思えます。



津和野土木事務所への要望

常任委員会報告

【地域商社視察】

11月26日に「地域商社について」江津市に視察を行いました。江津市は民間企業が参入しており、今後当町における議論の参考になりました。



江津市地域商社視察

総務常任委員会、意見交換会を実施

11月19日に民生委員児童委員協議会理事の皆さんと「民生委員児童委員のなり手不足について」意見交換を行いました。

意見交換を通して総務常任委員会からの提言は次のとおりです。

【総務常任委員会報告抜粋】

委員会としての提言

①制度設立時から無報酬であるが、現在委嘱されている業務内容を考慮すれば、国に適正な報酬支給を求めていく必要がある。

②あわせて、町から委嘱されている民生相談員の報酬についても、業務量、責任の度合に応じた適正な額を検討する必要がある。

③担当地区の見直しを含め、委員の選出方法についても自治会や地域から推薦してもらいなど選出された委員が活動しやすい環境を構築するため、今後検討する必要がある。



【6月の表紙】

吉賀町名誉町民澄川喜一先生が、文化勲章受章後初めてふるさと吉賀町に帰郷されました。

島根県立吉賀高等学校と母校である六日市小学校を訪問し、生徒児童の熱烈的な歓迎を受けました。再校では勲章を披露していただいたのち、少年時代の将来の夢の大切さ、当時の先生から受けた教養などについて語っていただきました。



吉賀高生の作品の前で

編集後記

吉賀町が現在かかえている大きな問題が二つあります。

地域商社の設立と病院存続の問題です。

・継続的な産業振興、創造的な就業環境づくり、魅力的なまちづくりのための地域商社の設立です。

・医療業界の全国的な不況のなかで六日市病院も例にもれず経営が困難のようです。

可としては公設民営化を検討しています。

議会としては流言飛語にまどわされずに、確実な情報を得て最終決定をする重大な責任があります。

文責 松蔭 茂